

**エビデンスに基づいた終末期の緩和ケアから看取り、リハビリテーションまで
～東京会場～**

【日時】2019年2月17日（日）10：00～16：00（受付9：30～）

【会場】林野会館 6階 604会議室
東京都文京区大塚 3-28-7

【内容】昨今、一般病院だけでなく、在宅医療や各種施設の拡充で看取りの場は広がっている。さらに患者それぞれの個別性を考慮することも求められ、現場では多種多様なケアの実践が求められている。

現状では、死亡直前～直後のケアは関わり合う医療介護職の経験則によるものが主体となり、質の低いケアにつながりかねない危険もはらんでいる。また、担当するものによっては同等のケアを提供することが困難な状況となっている。

わたくし自身、過去の経験を振り返ると、われわれスタッフ側の自己満足であった、わかっているのにできなかった対応があった、看取り後受容時においてようやく亡くなられた方のことを理解できたなど、毎回、自分の未熟さを実感し続けている。終末期の受容と経過において、肉体的機能低下にくわえ、社会的喪失精神的廃用、身体的廃用をきたすことが多く、リハビリによる関わり合いが必要効果的なことが多い。また、関わり合いを継続するために、本人、家人のみならずかわりあう医療介護スタッフの精神的肉体的サポートとシステム形成を必要とする。そこで本講義では告知時から看取りそして看取り後の受容において、本人家人およびかわりあったスタッフが満足できるケアを提供できる一助となるよう、エビデンスに基づいた看護ケア・リハビリテーションを含む対応の在り方を実例をもとにグループワークを併用して考えていく。

【講師】井上 登太 先生

みえ呼吸嚥下リハビリクリニック 院長

グリーンタウン呼吸嚥下ケアプランニング 代表取締役社長

NPO グリーンタウン呼吸嚥下研究グループ 理事長・医師

【参加費用】12,500円（税込）※当日会場にてお支払い下さい。

【主催】株式会社 gene

【お申込先】株式会社 gene ホームページ (www.gene-llc.jp)

【お問合せ先】株式会社 gene TEL：052-325-6611

愛知県名古屋市東区葵1丁目26番12号 IKK0 新栄ビル 6階

【その他 / 備考】

※講習会1週間前からのキャンセルについては、参加費用を請求させていただきます。
予めご了承ください。